



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだよ

第173号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

2009～10年度テーマ

広げよう！ プロバスクラブの楽しみの『環』

2010年4月8日発行

第173回例会

日 時：平成 22 年 3 月 11 日 11:30～13:20

場 所：八王子エルシイ

出席者： 55名 出席率 87.3%

(会員総数 66名、休会 4名)

1. 宮城例会委員長の司会で開会
2. 会食
3. ハッピーコイン報告

お食事中ですが、ハッピーコインの報告をします。

(詳細：5～6頁)

4. バースデイ報告

下山会長から、3月のバースデイ報告がありました。今月は、6名（大串、阿部(治)、矢崎、市川、土井(俊)、荻島各会員）でした。(写真：6頁)

5. 下山会長挨拶



今日はサロンが控えていますし、卓話もありますので、時間制限があって、挨拶というより、必要事項をお伝えして、例会を始めたいと思います。

第一に、後ほど情報委員長からも話がありますが、健康上の理由で交替されることになりました。プロバスクラブホームページの担当を武田会員に会長委嘱として、担当していただいて参りましたが、武田会員の個人のお力に頼って長年にわたってお世話になりました。東京八王子プロバスクラブの広報活動にどれほど貢献されたか、計り知れません。これまで貢献してくださったことに対し、会員一同を代表して心から御礼申し上げます。有難うございました、謹んで会長委嘱を解任させていただきます。

このほど会則を改定し、ホームページは情報委員会の担当としました。情報委員長責任で情報委員会の担当者によって進められます。後ほど報告があると思いますが、宮田会員が担当されます。宮田会員よろしくお願い申し上げます。



左手前宮田会員 右手前武田会員

第二に4月の例会日に、臨時総会を開催させていただきます。これは次年度の役員の選出を早く行うというものです。これまでですと定期総会、即ち6月に選出し、7月からスタートのため、引継ぎするのがやっとなので、到底新しい年度の事業をどうするか考える時間が無く、あわただしく交代しているのみでした。考える時間を持つことによって、年度交代と新年度の活動をスムーズにしようとする試みです。是非ご理解を願います。やってみる事によっていろいろ変化があると思いますが、ご協力ください。

今日お二人の新入会員を迎えます。毎度申し上げますが、早く慣れて頂くために、皆様暖かく迎え入れ、お声をかけてあげてください。

6. 新入会員紹介

推薦者：杉山会員

今日から仲間に入ってください、馬場征彦さんと田中信昭さんを紹介します。お二方とも、佐々木正

会員もご一緒のK S会（健康相武会）と云うゴルフの仲間です。



馬場さんは、そのゴルフ会のお世話役をされて、大変面倒見の良い方で、気は優しくて力持ちでございます。当クラブに相応しいジェントルマンと思い、推薦いたしました。

田中さんは現役当時、それぞれの任地のロータリークラブの会員として、ご経験豊かな方で親睦と奉仕というクラブの成り立ちについては、良くご理解を頂いている方でございます。

お二方とも、当クラブにとってこれからお力添えを頂けるものと思っております。

馬場征彦会員挨拶（会員 No.118 例会委員会）



私は、当時の台湾台北州台北市で生まれ、戦後父母の故郷の愛媛県宇和島市で小学校時代まで過ごし、中学、高校大学時代は大阪府寝屋川

市で過ごしました。私が大阪府立寝屋川高等学校在学中、甲子園に春2回、夏1回出場しました。とくに昭和32年春の選抜高校野球では、その大会の優勝校：早稲田実業と対戦し、残念ながら1対0で負けました。その内容は圧倒的な差で、ノーヒットノーランという不名誉な成績で終わったわけです。このことは後々同期会での話題の一つであります。今年の秋、創設百周年が予定されていますが、王貞治さんに是非お出で頂きたいと、交渉しているところです。

昭和37年大学卒業後、NECに入社、港区三田事業所、府中事業所、我孫子事業所、最終的には田町の本社で退職です。仕事の分野は、通信関係、コンピュータ関係が主で、役員として9年間勤めました。

ラグビー練習場のある我孫子事業所の責任者の

時代、ラグビーの試合によく足を運びました。幸いにも2002年、2004年、2005年には、日本選手権で優勝しました。当時国立競技場、秩父宮ラグビー場では、非常に興奮した記憶が良き思い出になっています。

八王子には昭和53年から住んでおり、今までは、^{ねぐら} 帰るだけでしたが、リタイヤして八王子を少しでも知りたいと思ひまして、このたび杉山様のご推薦で当クラブに加えて頂きまして誠に有難うございます。これからこのプロバスクラブで交友の場を通じて八王子を知り、また皆様とお知り合いになることで今後の人生を豊かなものにしていきたいところでございます。どうぞよろしくお願い致します。

現役時代：日本電気(株)常務取締役・NECネットワークスアイ(株)社長

趣味：ゴルフ、囲碁

田中信昭会員挨拶（会員 No.119 例会委員会）



入会を許可して頂きありがとうございます。会員ナンバー119番、消防と救急車と同じ番号です。

大変なご縁でありまして、新会員の馬場とは大学の同期生であり、また隣町に住んでいるということが、今日皆様のお仲間に入れて戴くという結果になった次第です。

生まれは大阪で、大学は京都大学です。卒業後旭化成に入社し、大阪そして石油化学基地のある岡山県倉敷市に26年間住んでいて、倉敷は第二の故郷です。後に東京本社に戻り、また創業の地である宮崎県延岡市の支社にしばらく赴任しました。大体现場を中心に働いてきました。

最近のハイライトは、昨年108日かけて“地球一周の船旅”12月上旬に帰って、今はまだその余韻が残っております。また、皆様とお付き合い頂けるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

現役時代：旭化成(株)専務取締役・旭化成情報システム(株)社長

趣味：ゴルフ、テニス、囲碁、スケッチ、アルトサックス演奏

7. 幹事報告 とくにありません。

8. 各委員会報告

(1) 例会委員会 岩島副委員長

本日の出席者は 55 名、出席率は 87.3%です。

(2) 情報委員会 竹内委員長

会長からご報告ありましたが、武田洋一郎会員のホームページの担当、長らく有難うございました。代りまして宮田正実会員に担当して頂きます。



宮田さんは、その方面ではプロでございます。またひょっとすると長らくお願いすることになるかも知れません。

(左写真：宮田正実会員)

(3) 会員委員会 大高委員

今日は、馬場さん、田中さんの新しい方 2 名をお迎えしまして、総員 68 名、休会 4 名です。

杉山会員には色々とお世話になりまして、沢山の優秀なメンバーを入会させて頂き、あらためてお礼申し上げます。本当に有難うございました。

(4) 研修委員会 佐々木正委員長

本日の卓話について一言申し上げます。話し手は石井廣治会員、タイトルは“福祉、育児にかかわる雑感”です。石井会員は育児あるいは福祉に係わる仕事をされておりますので、現場を中心にした話が聞けるのではないかと思います。

(5) 地域奉仕委員会 土井俊雄委員長

・2 月 25 日の開講式は皆様の絶大なるご協力によって終了しました。あらためてお礼申し上げます。



・一般会員の方がサロンに快く受付できるようご配慮願います。

・サロン参加者が希望の講座を聴講できるように配慮しました。参加人数の状況により不都合が生じた場合には、PC会員で調整してください。

・野外サロンの申し込みは、本日が締切りです。

未提出の方はお申し込みください。

(6) 交流担当 山崎理事

全日本プロバス協議会の事務局から「人生年表」というご案内が届いています。それは昭和の元年から現在までの 1 年毎の大きな出来事が記載され、その横に自分の生活史を書き込める表です。自分の人生を振り返ってみたいと思う方は、15 部ありますので山崎までお申しください。

9. 15 周年実行委員会報告

(1) 矢崎安弘会員

会員紹介の原稿の未提出の方は 3 月末日迄に、電子メール、FAX、手紙でご提出願います。新入会員の方には、後ほどご説明いたします。

(2) 橋本鋼二会員

15 周年記念誌の会員寄稿文、現在 15 件提出されています。未だ提出されていない方、新入会員の方は、電子ファイル、フロッピー等でご提出ください。※FAXは誤字率が高いので避けて頂きたい。

(3) 武田洋一郎会員

会員紹介用の顔写真、未だ撮られていない方、新入会員の方、例会後に撮影させていただきます。担当は市川会員と私です。よろしくお願いします。

(4) 宮崎浩平会員

15 周年行事について、お話をさせていただきます。実行委員会では着々と準備していますが、濱野実行委員長が、お病気で未だ出られるご様子でありません。その間、我々の方で準備をしているわけです。

現在、「身体障害者の音楽家によるコンサート」と「21 世紀の青少年におくるメッセージ 宇宙・未来への夢と努力と」というテーマを企画しています。

そこで、皆さんにお願いがございます。

「身体障害者の音楽家によるコンサート」では、佐世保にお住まいで、高校 3 年生の掛屋剛志さんを中心とするコンサートを企画予定しています。

掛屋さんから、自分のプロフィール DVD 付きの“やすぎの時代へ”という CD 及び“著書”が届いています。サロン中、受付のところに置いてありますのでお買い求めいただければ幸いです。

ご協力の程、よろしくお願いします。

10. 同好会報告

お茶の会：(竹内会員)

例会日を3月から第4火曜日に変更。但し、5月は未定。お茶の会々員を募っています。

囲碁クラブ：(下山会員)

囲碁大会 5月7日(金) 9時開始 於台町市民センター ご参加をよろしくお願いします。

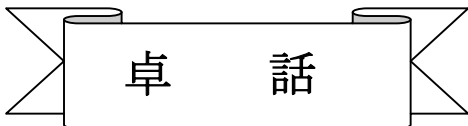
麻雀同好会：(澤渡会員)

毎月第3火曜日開催、今回は3月16日(火)
※参加者は食事予約上、予めお知らせ下さい。

美術鑑賞同好会 (池田会員)

第2回美術展観賞のご案内

- (1) 鑑賞美術展 日本民芸館、日本近代文学館
旧前田侯爵家駒場本邸
- (2) 日時・集合場所 3月20日(土) 10時30分
井の頭線 駒場東大前改札出口



福祉、育児に
かかわる雑感

石井廣治会員

社会福祉施設には、利用者調査・第三者評価の実施が2007年1月に東京都では義務化されました。基本的には毎年ですが、最低でも、利用者調査は2年、第三者評価は3年に1回実施しなくてはなりません。福祉について話しますと広範囲に及びますので、今日は育児にかかわる雑感を、お話いたします。

3月3日の読売新聞に、“大学、学生に「常識」も指導”という記事が出ていました。大学生の深刻なモラルの低下が問題視され、その対策に各大学で苦慮しているという内容でした。

“三つ子の魂百まで”と言われるように、人間として大切な根っこの部分が乳幼児期に育ちますので、このことは基本として大切なことであると思います。

2003年香港で鳥インフルエンザに18名が感染し、

日本でも鶏の間でインフルエンザが発生し、各地の養鶏所で鶏が大量に処分されました。鳥インフルエンザが人間に感染した場合(新型インフルエンザ)に備え、どう対応してゆくべきかという説明会や訓練も行われ大問題となりました。

昨年4月には鳥ではなく、豚インフルエンザがメキシコやアメリカを中心に流行し、日本でも5月には感染者が見つかり大騒ぎとなりました。東京都では9月にインフルエンザ「流行注意報」が出され、翌10月には「流行警報」に変わり、新型ワクチンを予約するのに何時間も並んだという過熱振りでした。

1月13日には警報は解除され、足りないと言われていた新型インフルエンザワクチンは、今年1月18日以降、希望する全ての人が摂取できることになり、あれほど騒がれていた報道も落ち着くとともに我々の関心もどこやら、熱しやすく冷めやすい日本人の国民性を見た思いです。

次に食物アレルギーですが、何年か前に北海道でそばを食べて亡くなったというニュースに接し、驚いたものです。アレルギー症状が重い、又は事例が多い7つの食物を7大アレルギーと言い、その食品を含む商品には食品衛生法で表示が義務付けられています。(卵 小麦 そば 落花生 乳・乳製品 えび かに)

また、春になると花粉の飛散情報が毎日のように報道され、花粉症の方には春は辛い季節です。私は山形で育ちましたが、周囲には杉の木が沢山あり、今の季節は雨とみぞれに混じった花粉を強風で全身に浴びていましたが、花粉症という言葉は聞いたこともありませんでした。くしゃみ・鼻水・鼻づまり等、花粉症の症状が出た記憶もありません。排気ガスや食べ物の変化などが影響しているのでしょうか。

暑い季節になると光化学スモッグも困り者です。学校や幼稚園・保育園には光化学スモッグが発生すると、八王子市から注意報や警報がFAXで送られてきます。発令を受けると、乳幼児・児童・生徒は外での活動を控え、窓を閉める等の対応をしなければなりません。それぞれの施設の立地条件で対応も異なると思いますが、学校や園ではどのように対応し

ていらっしやるのでしょうか。

最近テレビを見ていて気になったことですが、若い母親が嫌がって泣き叫ぶ 3 歳位の子どもの無理やり歯ブラシをしているのを傍で祖母が見ていて、「泣かしてまでも、あんなにしないで良いのではないのか」と祖母がつぶやくシーンがありました。世代の考え方の相違なのでしょうか、皆さんはどちらを選ばれますか？

10 年前位から幼児に多く見られるようになったのが、砂場や外遊びの際にお尻を“べたっ”と地面につけて遊んでいる子の姿です。下半身の貧弱さが現れてきています。生活様式が洋風化してきたこと、例えば、洋式トイレ（以前学校には和式トイレしかありませんでしたが、今はどうなっているのでしょうか。）椅子の生活への移行など、生活の中で下半身を緊張させる場面が少なくなっている為なのか憂慮しています。

先般、女性保育士の虐待（園児の口に粘着テープ）が報道されました。ベテランの保育士なのに「なぜ？」と思います。子どもの育ちや家庭環境などいろいろな角度から判断して子どもに接しなくてはなりませんが、最近の子どもと今までの長い保育体験から得た子ども感のズレから、対応できなくなっているのではないかと感じました。

一年を通して、健康増進を促しバランス感覚を養うため、室内では裸足保育を長年実践してきたものの、裸足保育は素晴らしいとの声と共に、霜焼けや子どもの体調を考えると床暖房を設置して欲しいという保護者の声に押され、保育室を床暖房にせざるを得ない時代です。“子どもは風の子”いいえ今は“子どもは暖房の子”です。生活様式の変化で、これも止むを得ないことなのでしょう。

活動や遊びが安全で活発にできるよう、また生活の自立やけじめをつけることを目的に、朝登園すると子ども達が最初にする通園服から体育着への着替えは、同時に虐待の発見にも繋がります。乳幼児の突然死を未然に防ぐ対策や、夏のプール遊びも外部から見えないようにする配慮も、重要なことになってきています。

今の子どもたちは大人の中で生活している子が多いからでしょうか、大人とのコミュニケーション

を上手にとり人なつっこい子が多いと感じられます。子どもに食事を与えず餓死させたと事件がありましたが、全く考えられない酷いことです。

最近、中身を漫画的にイラストや写真を多用しないと手紙やお知らせ等を読んでもらえない現実もあります。小学校の教科書も、写真や絵などがカラフルで、“これが教科書？”と驚いてしまいます。これも、また時代の流れなのでしょう吗？

個々の雑感はまだありますが、時間が来ましたのでこれで終わりとします。

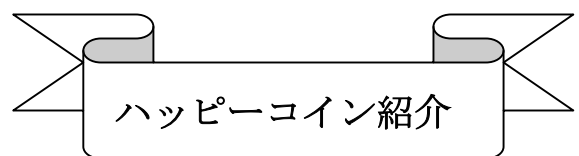
1 1. プロバスソング斉唱

1 2. 閉会の辞 杉山副会長挨拶

皆さまお疲れ様でした。プロバスの例会は、月一回です。例会に出てくると大変な情報量だと、つくづくそんな思いがしました。

また、石井廣治会員の素晴らしい卓話、有難うございました。会員の中では、小さいお子さんに係わっているお仕事をされてこられたというのは、多分石井さんだけだと思います。しかも石井さんは、幼児教育に熱心な“なみのり保育園”に携わっておられます。来年のサロンには、是非とも講座をお持ちいただければと思っております。

今年度の生涯学習サロンが充実した形で終わりますよう、皆様のお力添えを賜りたいと存じます。



◆ 50歳の誕生を迎えやっと人間として生きられると喜んだのがあれから23年、月日のたつのが早いこと！！（阿部治子）

◆ 今月は私の誕生日です。一病息災で元気に毎日が過ごせること、感謝感謝です。（土井俊雄）

◆ 3月3日73歳の誕生日を迎えました。両親より長生きしていますが、これからも健康で過ごせればなおハッピーです。（市川昌平）

◆ お陰様で元気で喜寿を迎えることが出来ました。感謝。（矢崎安弘）

◆ 家内が古希を迎えました。大病しましたが、今は元気で、古希を祝うことができました。（下山邦夫）



写真：左から会長、土井、矢崎、市川、大串、阿部各会員

◆久々に青空、気持が良いですね。3月8日（月）にすばらしい八ヶ岳を見ました。心の洗われる幸福感で一杯でした。（飯田富美子）

◆①動乱の中国を生き抜いてきた教え子と57年振り感動の再会。②腰痛手術（脊柱管狭窄症）成功。（渋谷文雄）

◆武田 洋一郎さんに感謝。永らくのホームページ作成頂きありがとうございました。（竹内賢治）

◆昨日定期検診で虎の門病院へ行きました。予約時間15時30分、診察室へ呼ばれたのは17時30分近くでした。結果がマアマアなので良いとしましょうか。それにしても皆さん本を読みながら平然と待っていました。（阿部幸子）

◆場所もかまわず、昼夜を問わず猫の恋。そろそろ春かな。（澤渡進）

◆今年も人間ドック受診。結果無事OK。（宮崎浩平）

◆初めての男の孫でそれも二人。生まれて半年たって3月末に初めて会える。（佐々木正）

◆杉山会員の御推薦いただき、馬場征彦氏と田中信昭氏の両氏がPCの仲間となりました。会員委員長としてこの上もない喜びで一杯です。両氏の今後の御活躍を大いに御期待申し上げております。（岡本宝蔵）

◆本日新入会員として馬場征彦氏と田中信昭氏がお仲間に加わります。皆様よろしくお願い致します。（杉山友一）

◆孫が希望の高校へ合格しました。（高取和郎）

◆受付で美味しいアメのプレゼント、アイデアがほほえましいです。そのお礼です。（古川純香）

◆ホワイトディが近づきましたけれど…期待してまーす。（立川富美代）

◆JALのマイレージを使い、昨年の長崎に続き、今年は鹿児島へ、夫婦で航空運賃無料の旅を楽しんできました。株主優待ではありません。念のため。（橋本鋼二）

◆4月上旬、韓国ソウル市で開催される「亜細亜（アジア）美術展」に現代書道“破体”作品を招待出品し、文化芸術を通し、国際友好親善を務めて参ります。（阿部和也）

◆「第14回生涯学習サロン開催を祝す」このイベントこそ生きているアカシです。（荒正勝）



「ジェネリック医薬品」とは 高取和郎会員



土井俊玄会員 「アニミズムの復権」



…戦争のない世界を目指して



「絵手紙 字手紙を書く」池田ときえ会員

八木 啓充

高尾山の山野草は3～4月が旬です。カタクリ、シュンラン、アズマイチゲ、あおいスマイレ、たかオスマイレ、ミヤマカタバミ、ハナネコノメ、ヤマエンゴサク、イチリンソウ、ニリンソウ数え切れない種類の山野草を見ることができます。

早春の花々でスプリング・エフェメラル(Spring ephemeral)と呼ばれ、花が終わると夏には消えてしまい、来春まで地下で過ごすものがあります。アズマイチゲやカタクリなどがそれです。

高尾駅北口より小仏行きバスは、この季節には平日でも大変混雑しています。ほとんど山野草を観察に行く人たちです。20分ほどバスに乗り「日影」で下車します。3分ほど歩き左手の橋を渡ると木の遊歩道が見えます。遊歩道の右手斜面にはアズマイチゲの可憐な花を見ることができるでしょう。さらに進み川辺に下りるとハナネコノメやチャルメルソウ、ヤマルリソウが出迎えてくれます。イチリンソウはまだ少し早いのではないかと思います。

遊歩道入口まで戻り溪流沿いに歩くとニリンソウの乱れ咲いている風景に感嘆の声を上げることでしょう。ニリンソウの間にアズマイチゲも見ること

ができます。日のあたった斜面にはタチツボスマイレやケマルバスミレが咲いていて、運がよければ高尾スマイレに会うことができます。

気持ちよい疲れでバス停に戻り、50mほどのところに「ふじだな」というコーヒー屋があります。その場で挽いた豆で煎れてくれます。その上クッキーまでついて300円にはビックリです。

カタクリやシュンラン、イカリソウは20号の南に連なる南高尾山稜に見られます。南高尾も山野草の宝庫です。初沢から拓大の西縁を通る尾根道にはシュンランの自生が見られます。乱掘により大分少なくなってしまったのは残念です。日当たりの良い所ではフデリンドウも咲いています。梅ノ木平あたりのカタクリの群生はとても見事です。更に沢筋を遡上すると薄暗い林の中にイチリンソウやニリンソウ、ヤマエンゴサクなどの咲いているのを見ることができます。そのあたりはスマイレの種類も多く季節によりニョイスミレ、ケマルバスミレ、タカオスマイレの群生を見つけることができるでしょう。

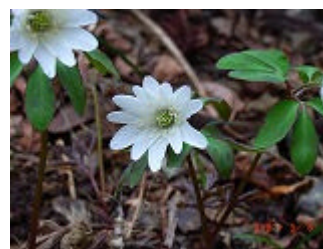
近くにこんな素晴らしい世界があるのです。春の野に出かけてみませんか。



シュンラン



ハナネコノメ



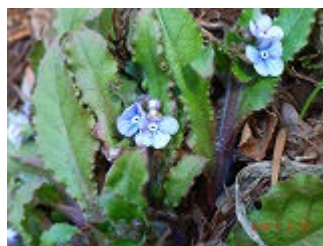
アズマイチゲ



ヤマエンゴサク



フデリンドウ



ヤマルリソウ



タカオスマイレ



ニョイスミレ

神戸・淡路大震災から15年に思う ①

竹内 賢治

本年1月16日、日本経済新聞・夕刊の「明日への話題」欄に、国際高等研究所所長 尾池和夫氏の次のような文章がありました。

「日記を読かえしている。1995年1月15日は大学入試センター試験の二日目だった。京都大学理学部入試事務室で待機中、佐藤文隆理学部長と話している、入試の最中に地震があったらたいへんだという話になった。佐藤さんが「近畿には大地震がないから」と言うので、「とんでもない」と活断層の説明をし、そろそろ近畿は地震の活動期に入るという考えを述べた。

翌日は振替休日で家にいた。地震の前兆現象の研究のため、電磁波を記録する装置を作って測定を続けていた。人工ノイズの多い大学構内を避けて自宅に測器を置き、モニターをときどき見ていた。その夜は自然の電磁波ノイズが多いなと思って寝たが、夜中に起きて波形を記録するためのレコーダのスイッチを入れた。

翌朝5時46分、震度5で飛び起きた、と日記には簡単に書いてある。大地震の後ほとんどの市民は「まさか神戸に」と言った。しかし地震の前から意識的に大地震に備えていた人たちもいた。あれから15年になる明日、わたしも淡路島で「変動帯に生きる」という題で話をする。

この記事を読んで、私は二つの地震について思い出しました。一つは娘の、一つは自分自身の体験です。娘は神戸・淡路大震災の際、地震被害の最も大きかった神戸・東灘に住んでいました。高速道路が倒れた場所から山手の方向にまっすぐ上がった場所です。メモ帳を見返しながら、当時のことを少し振り返ってみます。当日朝、私は5時30分起床、洗面所でグッラときて地震と気づき、6時過ぎのテレビニュースで、神戸で大きな揺れがあったことを知りました。詳しいことはわからないまま出社し、8時からの会議後、東京へ向かうため小松空港に行きました。そこから自宅に電話をしたところ、10時ごろ娘から「無事だから心配をしないように」と簡単な電話があったとのことでした。

娘の部屋はアパートの3階の一室です。地震で飛び起きたものの床は傾き家具類は部屋中に飛び散り、何をどうすべきか分からなかったといいます。暗闇の中で何とか寝巻きの上に着るものと履物を探し出したものの、玄関のドアは開かずやむなくベランダから外へ向かいました。1階部分が完全に潰れていたため、2階程度の高さから地面に降りたそうです。近所の家々は倒壊し、騒然とした状態だったといいます。

当時携帯電話は普及しておらず、娘は公衆電話の大行列に並びました。ちなみに財布を持たずに飛び出したため、行列に並んでいた見ず知らずの方から小銭を貰って電話をかけたそうです。その日の夜は、同じアパートに住んでいた女性の友人宅（神戸・岡本）に一晚、お世話になったといいます。

さて、私の方は、小松空港のテレビで惨状が放映されていましたが、心配しながら東京に向かいました。午後、日本橋の第一証券に伺ったところ、西宮支店が全壊し、社員の動向が判らず大騒ぎをしていました。

翌々日、娘が金沢に帰ってきましたが、よほど怖かったのか、思い出したくないのか、そのときの状況は簡単に言ったきり、今日まで二度と話をしませんでした。然し、今も緊急の避難袋を枕元に置いているそうです。

娘は金沢に一晚だけ泊まり、勤務先の伊藤忠商事神戸支店に出社すると言って帰って行きました。当分の間、大学時代の友人宅にお世話になるとのことでした。

震災から1週間後、一泊の恩義のある神戸・岡本のお宅と、奈良の友人宅へ挨拶に出向きました。また、生活用具・衣類等を預かって頂いた上司宅へもお礼と荷物の引き取りに伺いました。後日、兵庫・西宮の知人が所有している賃貸マンションの部屋を借りることができ、住まいの問題は解決しました。

一方、震災数日後、借りていたアパートの大家さんから、敷金100万円が返還されてきました。「建て替えの見通しが立たないため、取り敢えずお預かりしていた敷金を一旦お返しします。後日ご縁がありましたらご利用お願いします」とありました。この騒ぎの時に、なんと誠意のあるお話しかと感激したものでした。

神戸の建築物の被害は深刻でした。娘の住んでいた建物は40度ほど傾き、今にも倒壊しそうな形でした。木造建ての家はほとんど全壊で「コッパミジン」とはこのことかと驚きました。また30cm角ほどの鉄柱が剃刀で「スパット」切り裂かれたようになっている様子や、大きなマンションが傾いる姿、三ノ宮駅前そごう神戸店の倒壊、神戸市役所旧館の押し潰された姿も壮絶でした。（つづく）

編集後記：今年も、生涯学習サロンが充実したカリキュラムで開講することができました。皆さまのご支援ご協力有難うございます。

情報委員会